校長の認定理由は根拠もなく、不合理 で不当である!



2017 年 12 月 18 日 東京地裁第 5 回口頭弁論

50名もの支援者で、傍聴席を埋めつくす

勝ち取る会ニュース No. 5

> の 頭

支援

者

ま

五回

が

頭 見

弁論では、

前

都

教

委

市

-教委)が

出

指

導力不同

足

教

第

五

弁

論

が

行

わ

ま

た。

Ŧī.

 \bigcirc 1 立

部 前

兀

0

兀

믕

法

廷に の

お

時

 \equiv

東

京

十八

と被 を述べた三三 備 告側 面 に に !渡しま. 対 枚の書面を 具 た。 体 的 に 裁 判 反 論 所

をしなかったにも 「校長は、原告に対して『 校長は、 指 が み 申 原 導 告 あ や偏見 請 ると U 弁 た校長 た 護 怪 決 で原告を指 のめつけ 我 لح \mathcal{O} を認 繕 は、 ってい か 詰 てい 定 かわらず 自らの 理 導力に 護 る。 。 る。 こ 指 由 士 思 に は

を短く など準 合理で不 ているところで、 なく、 明が の まと 備 反 書 当 理 論 な な 61 \oplus に 面 に に 主 は 張 校 述 な も 自らは^ 長 を 5 具 か ない \mathcal{O} 7 体 か 不 て わ 的 61 る 合理 5 61 な ず、 主

的

に法廷で述べま

 \mathcal{O}

永

示され

日(月) た 名 Ш て うに、 加 張 え 要 は 門 到 <u>_</u> 誤 請 底 性 映 り 11 原 が 像記 えず、 で 告が あ る 録 \mathcal{O} 指 指 様子が 」と述 の 明 導 らかに 提出 力 不 者 が 足 分

弁護 流を 判 閉 行 \mathcal{O} 士 廷 しし 報 会多摩支部二階 後 ま 告と支援 裁 た。 判所 者と 近く の 会 \mathcal{O} 議 東 室 京 交

支

に

校長

市 Ξ

教

教

_0

七

年 ま な ع

月 ま

東

京

裁

立

Ш

に

追

い

込 が

れ

す。

解 教

除 員 に

ら し の

なけ

れ

ば

分

限 ま 導

免

足 四 異

て 判 h

認

定さ で、「

れ

月 動 0

校

長

断 は 中

指 0

力

t=

A さ

た。

修 部

セ

タ

の

対

応 委

を

提 都 地

訴

ま

な 記 ま 録 いこと」 諭 被 橋 から原 \cup か 告 詰 た。 5 準 弁 護 \mathcal{O} 備 告の 書面 士 が の 原 三点を述 告 原 指 \mathcal{O} 導力に 告 の 好 反 $\sqrt{}$ 論 備 価 問 書 題 授 面 僚 話 が 業 に

にじ 協議 ることを伝 勧 を 富 会場に る不 用 告 藤 権 会 永]を無視. で、 弁護 会 無 てい 長は 当 視 た 流 都 \pm は、 協 個 教 ŧ 都 議 委 人 この 研究授 と強 教委 会が の 研 尊 市 究 研 が 行 教 授 厳 委に 業 業 わ を 修 踏 制 \mathcal{O} れ 後 てみ よの 度 Ο 音

る

ま

せ

 λ

声

授 \mathcal{O} 音 分かる ー を 被 ま 被 教 析 告 員 録 ょ 主と た

まし た。

で、 は 本 う 開 審 人 同 i= が 年 示 査 原 年 要 委 告 意 四 が I弁 護 請 員 見 難 月 月 陳 の の ഗ ま 述 意 寸 い 第 見 を し が 書 たが 読 未 口 回 4 て を 開 未 開 ま 示 頭 だ 頭 都 弁 の 示 *t*= 弁 開 教 す 都

委

示

る

で、 同 な 請 同 きま 認 年 観 年 被 し まし 定 告 + 察 九 た責任を の 授 月 月 た 都 業 切り の の 教 の 第 第 委 回 都 映 捨 四 . 教 避 像 にてま 回 回 す 市 委 記 る は 録 頭 頭 提 張 弁 提 弁 は 出 論 出 を

判

年

12

府

市

の

小

学

四校

ょ

個

顺

じ

た

指

導

は

簡

単

では

な

0 現 () 在 \mathcal{O} 教 師 は 余裕が な 61

が

なく苦し

し

h

でい

る

÷

〇そもそも危 すことが必 要。 険 な 組 体 操 を 無く

都 \subset 侵 教委が行っていることは の 害では ょ う な な 研 1) 修 か。 は あ 過 と去にも つ た \mathcal{O}

校長 上 指 は 過 導 校長は、 力不 去には \mathcal{O} 指導 足 等不足ではないのか。 問 き 題 ちん で訴えたこと と指 な 61 か。

0

0

か

今までも泣き寝入り多 な のではない か つ たの か か かっ

今後 必要である。 を覆す資料 も 被告側: を が 準 述べてい 備 すること るこ

いか , ら の 活 \mathcal{O} 報 発 な 告 意 集 (会でも 見をお待ちして み いなさま など。

> てい そし 千 市 を第二次 裁 判 七 教 皆 署 〕様 の て、 月十 百六十三 委 所 名 が \wedge に 十二月 支援 の 分として 署 原 八 名千 \Box 告 圧 カと の 筆 が \mathcal{O} 勇 裁 筆(累計二千 に + なって 気 判 提 頭 な 八 +、所、 べにつな , 日現 弁論 出し Ŋ ま ました。 都 61 前 \cup 在 かに、 た。 で三 教委 が ま · 筆)、 す

聴 る 私 ため たちの・ の ま 参加をよろしくお願 す。 に、 力でこ \subset れ か の 5 裁 う も 署 判 を 名 勝

取

ま 傍

ਰ

12月18日報告・意見交流会 東京三弁護士会会議室

傍聴席を支援者でいっぱいにしましょう!

第6回口頭弁論 2018年1月29日(月) 10 時 30 分開廷 東京地裁立川支部 第 404 号法廷

報告集会

場所 東京三弁護士会多摩支部 時間 11 時 15 分開始予定

第7回口頭弁論

2018年3月5日(月) 期日 午後1時10分開廷

東京地裁立川支部 第 404 号法廷 場所

府中市小学校教員の職場復帰を勝ち取る会『総会』

3月30日(金)午後6時 期日

北多摩西教育会館 場所

事務局〒185-0034 国分寺光町 1-40-12

東京都教職員組合北多摩西教育会館内

『府中市小学校教員の職場復帰を勝ち取る会』

:042-576-1161 Fax:042-575-0529 TFI

